

# 令和元年 秋の国内工場見学会

当工業会主催の国内工場見学会はすっかり定着しご参加された皆様からは大変ご好評を頂いております。令和になり最初の見学会は、令和元年9月18日（水）貸切りバスにて三重県へ向けて出発致しました。今回の見学先は① DMG森精機株式会社 伊賀事業所（三重県伊賀市）と② 株式会社伊藤製作所（三重県四日市）の2社を見学訪問致しました。今回の見学会参加者は計26名（事務局含め27名）と沢山の方にご参加頂きました。

## ① 【DMG森精機株式会社】

設立1948年、資本金511億円、売上5,000億円、従業員13,000名（連結）主にマシニングセンタ、CNC旋盤を主とした工作機械の総合メーカーです。今回訪問した伊賀事業所は最大の生産拠点であり、敷地面積578,000㎡の広大な敷地に各種工場や展示場（ショールーム）、福利施設なども完備され、1,500名以上の従業員が働いているそうです。

この日は、ドイツ・ハノーバーにて世界最大の工作機械見本市EMO2019が開催されており、DMG森精機様も大規模な出展をされておられ、人手が少ない中親切に工場見学等のご対応頂きました。

組立工場では住宅よりも大きな工作機械もあり圧倒されるばかりでした。工場内はどこも大変きれいで作業着やヘルメットの色などで職種や経験が区別され、各装置の前には大きなモニターにより進捗管理がされていました。ショールームは今回時間の都合で横を通り過ぎたのみですが、58台の工作機械が設置され、日々顧客のテストカットが行われているそうです。最後には手土産まで頂き、大企業の資金力に圧倒される工場見学でした。



DMG森精機 伊賀事業所



DMG森精機様の会社説明



記念撮影（集合写真）

## ②【株式会社伊藤製作所】

創業 1945 年、資本金 5,000 万円、従業員 300 名（3 拠点）、自動車向けプレス部品製造と順送り金型の設計製作で高い技術力を持ち、フィリピン、インドネシアとアジア 3 拠点でグローバルな事業展開を行っている。

伊藤澄夫社長には昨年 11 月に当会主催の次世代経営者セミナーでご講演頂いており、その縁で今回訪問見学させて頂きました。工場は金型工場と第 1～第 5 プレス部品工場が近隣に集約され、プレス機は 15～600ton を約 100 台、金型はすべて内製、主なプレス部品はシート部品とワイヤーハーネス端子などだそうです。一番の特徴は金型をつけっぱなしにする手法です。段取り替えしないことで金型の寿命は 2 倍以上になり寸法精度の狂いもない。金型を取り替えると調整に 2, 3 日かかる場合があるとのこと。作業者も少人数ですむため 65 台がつけっぱなし、部品点数 900 点の内この 65 点で売り上げの 80% あるそうです。プレス機も 75 台は償却を終えており、従って稼働率は 30% 程度で十分なのだそうです。

工場の片隅には光岡自動車の小型スポーツカーが置かれており、キットを購入して新入社員が組み立てるそうです。また地元の商業高校から毎年優秀な女子が入社してワイヤーカットやマシニングを覚え、やりがいを持って取り組んでいる姿も見られました。工場内にパンが置かれており、これも社長のアイデアで社員が 3 時に食べるためだそうです。伊藤社長の「社員を大切にする」考えは以前にも講演でお聞きしましたが今回も随所に感じられました。 会社の福利厚生施設も今後もより一層充実させるとのことです、

社員は働き甲斐があり、やる気も出るだろうとうらやましく思いました。



会社説明など（伊藤社長のお話）

最後の質疑応答でも色々な質問が飛び交いそれに対する伊藤社長のお答えやお話が大変興味深いお話ばかりで、もっと聞いていたいと皆さん感じられておられました。予定の時刻を大きく過ぎてしまいましたが、大変良いお話が聞けて、参加された皆様には良い見学会になったことと思います。

ご参加ありがとうございました。



記念撮影（集合写真）